

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年5月27日公開(メモリアルデーの週末)

聖書預言の目的

この時期、毎年行っている通り、今日は、究極の犠牲を払って下さった方々を覚えたいと思います。ここに居らっしゃる方、それから、オンラインチャーチの皆さんの中で、私達の国のために戦って下さった方々と、戦死された方々、及びそのご家族に敬意を示したいと思います。これまでに私が集めた、力強い言葉をご紹介します。これらを通して、この祝日の本当の意味を思い出す事が出来ればと思います。

Thomas Campbel の言葉です。

「愛国者達の血は、自由の木の種である。」

Robin Hayes

「今年のメモリアルデーは特に、軍服を着た男性、女性達が、私達の生活を防衛するために、日々、どれほど多大な犠牲を払っているかを思い出さなければならない。」

George S. Patton の有名な言葉です。

「死んだ人達の事を嘆き悲しむのは愚かな事であり、間違っている。それよりも我々は、そのような人物が生きていた事を、神に感謝するべきである。」

この言葉、私は大好きです。

次に、これを行う目的ですが、これまでに軍で務めて下さった方、また現在勤めておられる方々は、ご起立いただけますか？私達から、皆さんに敬意と感謝の意を示し、また、皆さんの為にお祈りをしたいと思います。インターネットでご覧になっている方々にも、私達は敬意を示します。どうぞご起立いただけますか？皆で敬意を示し、それからお祈りさせていただきます。私達は、皆さんに深い借りがあって、皆さんが、この国のためにして下さった事に、私達は感謝してもしきれません。今日、ここに来る途中に考えていたのですが、エペソ人への手紙で使徒パウロが言った、「キリストにならう者」に関して、

“私がキリストを見習っているように、あなた方も私を見習ってください。” (第一コリント 11:1)

「私がキリストに従うように、私に従いなさい。」と言いましたね？そこで、私がいつも実行するようにしているのは、制服を着た人達を見かけると、近づいて行って、私達の国の為に対する、彼らの務めにお礼を言います。これが時々、アラブ人が近づいてきたというので、引かれる事もあるのです。私がアラブ人だから。すぐに、私が親しみを込めて近づいてくるのが分かるのですが、そして興味深かったのが、11歳になる私の娘サビアが、先日、制服を着た人のところに近づいて行って、私達の国の為の彼らの務めに、お礼を言ったのです。なんと！彼女は、それを誰から習ったのでしょうか？

ともかく、皆さんに感謝します。それから、あなた方の為にお祈りさせていただきます。

天のお父様。今日、私達の前に立っているこれらの人々と、オンラインチャーチの中にも、私達の国の為に、誠実に務めて下さった方々の為にお祈りが出来る、この大きな恵みに感謝します。主よ。彼らに感謝します。どうか彼らを祝福してください。全ての栄光と賛美を、あなたにお返しします。イエスの御名によって、アーメン。
ありがとうございます。

では、預言アップデートに入りましょう。

今日は、皆さんには忍耐をもって、お付き合いいただければと思います。今日は、いつもとは少し、というより、かなり違った事を行いますから。これまで毎週日曜日は、その前の週に起こった事と、預言的出来事の展開について、お話してきましたが、今日のアップデートについて、祈って主の答えを求めた結果、違う形で行う事にし

ました。ことわざにもあるように、私達は、預言の森をよく見るためには、木から少し引かなければなりません。その理由は、あまりにも多くの事が、ものすごい速さで起こっているからです。過去にも言いましたが、ちょっと前までは、全部をまとめるのに 1 日もあれば十分でした。私は預言アップデートを完成するのに、8 時間から 10 時間ほど、もしくは丸一日を費やしていました。でもそれは、昔の話です。今は、起こった事の内容にもよりますが、1 回の預言アップデートを完成させるのに、約 2 日はかかります。だから、オンラインチャーチの人が、コメント欄に、「Pastor JD! 毎日これをして下さい!」と書いているのを見る度に、引いてしまいます。「今、殺してよ!」と。私の事を殺したいんでしょ?! いいですか? 私は、イエスに会いたいですよ? でも、それをすれば、本当に私をイエスのところに送り込む事になりますよ。

ただ、あまりにも多くの事が、ものすごい速さで起こっていて、それに伴う問題があるのです。というものの、ものすごい速さで起こっている事から、視野が狭くなりがちです。視野が狭くなる事で、特定の聖書預言に過剰に注目しすぎるようになり、それによって、私達は、聖書預言の目的を見失ってしまいます。私も、他の皆と同じように、その傾向にあります。事実、その傾向は他の人より強いと思います。正直に言えば、私は、聖書預言の中の特定の預言に過剰に注目するあまり、それが与えられている目的を見失う事が、たやすく起こるのです。**なぜ、聖書預言が与えられているのか?**

次に、シリアのダマスカスは、イザヤ 17 書にあるとおり、滅ぼされて廃墟になりつつあるか? 私は、そう思います。

「でも、もし間違っていたらどうする?」
それは正しい質問ではないと思います。正しい質問は、
「もし、そうだったらどうする?」

私は、毎週ここに立って、これらの聖書預言（エゼキエル 38 章、イザヤ 17 章、ダニエル 9:27）を伝えて、皆さんの目を、これらの具体的な聖書預言に向けて行きながら、それらが起こらない方が、皆さんの目をそちらに向けないでいて、それが起こるよりも、ずっと良いと思っています。

ロシア、イラン、トルコ、その他は皆、イスラエルを攻撃する準備が出来ているか? エゼキエル 38 章に書かれている通り、略奪の目的で? 私は、彼らは準備が出来ていると思います。ほんの 5 年前でも、私は今のよう、きっぱりと言う事は出来ませんでした。さらに言えば、これから 5 年先も言えないと思います。全ての事が、今と同じ速さで動くなら、全てが、その時まだ、同じ位置にあって、今日のようにすべての国々が並んでいるとは思いません。これは静止したものでなく、非常に流動的ですから。

ダニエル 9:27 の預言通り、反キリストが、7 年の和平協定をもたらせる程に、今の世は熟しているか? 私は心底そう思います。これまで以上に、そうだと思います。現在私達が見えているようなものを、私は、これまでに見た事がありません。

ところで、私達はこれを 12 年行ってきたのですよ。クリスマスと復活祭の日曜日を除いて、私達は、通常、毎週これを行ってきました。私達は、礼拝で集まって、神の御言葉を学ぶ時間の後半を、これに費やし、神の御言葉の中の預言にフォーカスして来ました。

神の御言葉のほぼ 3 分の 1 が、預言です。そして、それには大きな目的があります。

その目的とは、全ての預言によって、イエス・キリストご自身と、イエス・キリストが十字架で成し遂げてくださった、御業とを指し示す事です。

聖書の初めの預言が、その事を証明しています。聖書の初めの預言とは何か、皆さんご存知ですか? それは聖書の初めの書の中にあります。しかも、よく理解しておいてください。そこには、イエス・キリストの福音が、初めて記されているのです。創世記 3:15 は、「原福音」として知られています。あまりにも立派な言葉で、まるで、私が神学校に行ったように聞こえますが、私は行っていません。これは福音です。まさに、この創世記 3:15 です。見てください。神が蛇に語り、のろっている場面で、彼は、このように言っています。

“わたしは、おまえと女との間に、敵意を置く。おまえのたね（子孫）と、女のたね（子孫）——”

え?! どういうことですか? 女に“たね”はありません。たねを持っているのは男で、女にあるのは卵です。おお! これは、処女降誕ですよ。これは、世の救い主が処女から生まれる事の預言です。「女の子孫(たね)」そして、

“彼は、おまえの頭を踏み砕き、”
——待ちきれませんね。

“おまえは、彼のかかとかみつく。”
——十字架の事を言っておられるのです。

これが、聖書の最初の預言です。しかもそれが、イエス・キリストの福音なのです。彼が来て、全人類の罪を贖われる。聖書預言は、目的を達成するための手段だと、私は主張します。つまり、**最後には私達をイエス・キリストに導くという、主な目的。これが聖書預言の目的です。**そこで、繰り返しますが、私は皆さんに率直に申し上げて、認めなければなりません。私自身が、見直す必要がありました。そして、聖書預言の全目的に、立ち返らなければなりません。ヨハネ福音書 13:19 でイエスが言われた事をよく聞いてください。

“わたしは、その事が起こる前に、**今あなた方に話しておきます。それが起こった時に、わたしがその人である事を、あなたが信じるためです。**” (ヨハネ 13:19)

彼が、「わたしはある」という方です。(出エジプト記 3:14)

彼は、そこに結びつけて、その事が起こる前に、私達に話したのは、それが起こった時に、彼が「わたしはある」という方である事を、私達が信じる為だ、と言っておられるのです。興味深いと思いませんか? これが預言の目的です。私達を「わたしはある」という方である、彼のところに導く事。

これが、かれこれ 2 年、多分もっと長いと思いますが、毎週アップデートの終わりに、イエス・キリストの救いの福音を、私が伝え続けている理由です。ある方から、事務所にメールが来ました。ところで、ちょうど良い機会なので、お詫びしておきます。私達の元に届く、膨大な量の手紙やメールやコメントに返信するのは不可能なのです。しかし、その一つ一つに私達は感謝し、その事で、神を称えます。ともかく、私達の所には、非常にたくさんの方のコメントや手紙、メールが来て、絶対に救いの ABC を止めないで、と人々が懇願しているのです。そしてこれまた、良い機会だと思うので、皆さんに言っておきます。私はイエス・キリストの福音を伝えるのを止めるつもりはありません。たとえ私が止めようとしても、神がそれを許して下さらないでしょう。

この後、フォーカスすべき点を明確にしますが、主は、私のすべき役割について、ずっと語ってくださっていて、それは、出来る限り迅速に、聖書預言からイエスに繋げる事です。先ほども言いましたが、聖書預言の目的は、イエスですから。これまた、ありきたりに聞こえるかも知れませんが、イエスが全てです。そうですね? それから、私は、聖書預言が大好きです。それは明白ですよ? 皆さんの多くもそうでしょう。しかし、聖書預言の目的が、聖書預言であったとすれば、それが何になりますか? ポイントは何ですか?

もしそれが、私達をイエスに導かなければ、もしそれが、私達をイエスに向けなければ、もしそれが、私達をイエスの元にもたらさなければ、何の意味がありますか?

私は次の事について考えていました。事実、私の心を明確にメモに書けるように、そして、それを皆さんに伝えられるようにと、今朝起きてすぐに、神に祈りました。そこで、神が私に与えて下さったのは、聖書預言は、ものすごくつらい状況に直面している人に対しては、あまり力がないのかも知れませんが、それから、主が私に語って下さったのは、私は毎週早く起きて、それから、ご存知の通り、聖書預言が、まさに私達の目の前で成就している事をお話しして来ました。それが、私には分かりませんが、オンラインで観ていた方、もしくは、私が牧らせていただいている、この美しい教会の中で、ぎりぎりのところで生きていて、ただ主から何かを求めている人が居るなら、もちろん、主がもうすぐ来てくださるといふ祝福された希望は、励みになりますよ。使徒パウロも、テサロニケの人達に、このことばをもって、互いに励まし合いなさい、と書いています。しかしそれは、その時の話であって、今はどうすれば? 今日の午後は? 今夜は? 何となく予感がするのです。だんだん暗くなって、寝る時間になった時、何が待ち構えているか、私も良く分かりますから。私は横になっても、眠る事が出来ません。頭の中がフル回転して。今起こっている事を考えると、眠れません。事実、私の恐れは良く知られて

います、そして、心配性です。あの事、この事、彼らの事、彼の事、彼女の事を考えると止まりません。彼らのために、祈っています。あるいは、あなたの放蕩息子、放蕩娘かも知れません。彼らの事で、あなたは心を痛めている。ついには、主がもうすぐ来られるという、祝福された希望までもが、余計につらくなるのかも知れません。主が戻って来られると、全てが終わることを知っていて、あなたは心から待ち望んでいるから。もう困難も苦しみも、痛みも悲しみもない。主ご自身が、私達の涙をぬぐって下さる。でもそれは、その時の話です。箴言 13:12 には、こうあります。

“期待が長引くと心が病む。” (箴言 13:12)

主が今、戻って来られると期待して、戻って来られなかったために、絶望している人達の事を、思わずには居られません。そこで、この箴言の後半部分が、よく言い表していると思います。そこには、こうあります。

“望みが叶うことは、いのちの木である。” (箴言 13:12)

使徒パウロが、人生の終わりについて、テモテに書いた事を思い出します。彼が、どのように競争を走ったか。彼は走るべき道のりを、しっかりと走り終え、今は、彼を待ち受けている、義の栄冠を楽しみにしている。その義の栄冠は、彼だけでなく、主の現れを待ち望んでいる者には、誰にでも授けてくださる。

“私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、誰にでも授けてくださるのです。” (第二テモテ 4:8)

主が、私の心に重荷として、はっきりと置かれた事の一つに、失望している人達があります。私達のところには、祈りの要望がたくさんあります。ところで、私達のところには、祈りのリストがあって、第一礼拝の前には、祈禱会も行っています。毎月第一火曜日だけでなく、毎週日曜日の朝にも行って、多くの人から頼まれている、こういった祈りを祈るのです。これがまた、要望された祈りのいくつかを読むと、心が引き裂かれるようです。色んな人が、本当に厳しい状況で戦っているのです。末期がんで余命があまりなくて、身辺整理をしなければならない。今、自分はこっちの性別、あっちの性別だと言い始めた子供達への対応。彼らは、神にも、父親にも母親にも関わりたくないと言う。愛する者たちの救いを主に求めて、たくさんの方が祈り、懇願しているのです。何度も言いますが、たくさんの方が、ぎりぎりのところで、なんとか保っています。もしかしたら、今日のあなたが、そうなのかも知れません。もしそうなら、次の事を保証して、あなたを励ましたいと思います。あなたが、どれほどの事に直面していても、主は、それを乗り越えられるようにして下さいます。もちろん、私達全員が、主が早く戻って来てほしい、と願っています。しかしながら、収穫は熟していて、主が戻って来られる前に救われるべき人が、たくさんいます。その時まで、彼の御言葉の約束の上に、固く立ちましょう。彼は決して、あなたから離れない。彼は決して、あなたを見捨てない。あなたを支える為に必要なものは、何であれ、彼が必ず与えて下さいます。

私自身の人生を考えていると、私もある事を祈り、それについて主を探し求めます。「主よ。助けてください。あなたが戻って来られないと、この問題や、あの問題に、私はどう対処していいのか分かりません。」私が包括的に話しているのは、皆さんが、ご自分の人生に当てはめて考えられるようにですよ？そこで主が私に語ってくださった事を、皆さんにもお分かちします。

「それがどんな事であれ、わたしの恵は、あなたに十分である。」

——そうですけども、息子が大学に行くのです！アメリカ本土の…。主よ。息子が行く前に、戻って来てくれませんか？でも、もし、戻って来なかったら？

「あなたに必要な恵を、わたしが与えるよ。」

——でも主よ。私は、息子を本当に愛していて、寂しすぎます！

「そうだろう。でもわたしが、あなたに必要な恵みを与える。それで十分だ。」

——ええ。でも、こんな問題を抱えているのです！

皆さん、自分の問題を当てはめてみてください。

「何でもあなたに必要な恵を、わたしが与える。あなたに必要な時に。」

時として、神は明日のマナを、今日与えてくださいません。マタイ 6:34 にある通り、その日の心配は、その日の事だけで十分です。言い換えれば、明日、あなたに必要ななら、明日あなたに必要なものを、神は、明日与えて下さる。今日ではなく。私達は、今日欲しい！と思います。そうすれば、銀行に入れておいて、明日にはもう心配しなくて済みますから。でも違います。明日、主を信頼して、主により頼まなければなりません。何であれ、あなたに必要なものは、あなたに必要な時に、与えてくださいます。神は、決して遅れる事はありません。早すぎる事はありませんよ。私達は、早くと願いますが。ともかく、神は決して遅れる事はありません。神はあなたに必要なものは、何でも与えてくださいます。また、神が、あなたを支えてくださいます。だからその間、主が来られるまでは、しっかり働きましょう。ところで、これが、時間の過ぎるのを早くする方法ですよ。忙しくしている時は、時間の経つのがあつという間ですよ？でも、そうでない時は、いつまでたっても時間が過ぎません。「わたしが帰るまで、これで商売をしなさい。」(ルカ 19:13)と主が言われたのは、そういう事かも知れません。神の事で忙しくして、時間が早く過ぎるようにしなさい、と。主が帰られるまで、迷い出た人達に手を伸ばしましょう。私達の中にある希望について、皆に知らせましょう。ところで、主がまだ戻っておられないのは、この為ですよ？まだ人が居るから。ペテロが言った通り、神は、一人でも滅びる事を望まず、全ての人が悔い改めに進むことを、望んでおられるのです。(第二ペテロ 3:9) だから、まだ世は待っているのです。

皆さんの忍耐に感謝します。これから締めに入りますが、もう一つだけ、皆さんにお伝えしたい事があります。私達は、メインの事を、メインとしなければなりません。メインの事とは何か？メインの事とは、**イエス・キリストと、そして、彼が十字架にかかったという事。これがメインの事です。**第一コリント 2:1-5 に、使徒パウロが聖霊によって書いています。

“さて兄弟たち。わたしが、あなた方のところへ行った時、私は、すぐれたことば、すぐれた知恵を用いて、神のあかしを宣べ伝える事はしませんでした。”

ここの、この部分で、私は確信したのです。2節からさらに悪くなりますよ。

“なぜなら私は、あなた方の間で、イエス・キリスト、すなわち、十字架につけられた方の他は、何も知らないことに、決心したからです。”

パウロが言っている事を聞きましたか？これは、あらゆる場所のあらゆる牧師が、教えられたあらゆる事に、相反するのです。すぐれた言葉はいらない？すぐれた伝達者である必要はない？必要ありません。彼の言葉を聞いてください。

“あなたがたと一緒にいた時の私は、弱く、恐れおののいていました。そして、私のことばと私の宣教とは、説得力のある知恵のことばによって行われたものではなく、御霊と御力の現れでした。それは、…”

これがその理由です。

“それは、あなたがたの持つ信仰が、人間の知恵にささえられず、**神の力**にささえられる為でした。”

どうか、あと少しだけお付き合いください。私の心から、皆さんの心に、しっかりとお伝えしておきたい事があるのです。

数週間前、木曜日の夜に緊急預言アップデートを行いました。私は、本当に言いたかった事を、適切に言わなかったのです。基本的には、私は、自分が預言専門家として知られる事に抵抗がある、というようにお伝えしました。私はこれが嫌いです。そして、私が、これが嫌いな理由は、それによって、私に責任がかかって来るからです。私の表現力、それから説得力、さらに言えば雄弁さまで。誰かが、「JD はこう言っていた」と言うのを聞くと、私は、恐怖で砕けそうになるのです。私に、そんな事をしないでください。お願いします。「JD が言っていたから、それは真実に違いない。」とか、「だれだれがこう言っていたから、それは真実に違いない。」とか。

お願いします。それは、人の知恵を支えにしています。神の力ではありません。その事を、パウロはここで言っているのです。

福音の力は、これです。イエスが十字架にかかり、そして葬られ、それから彼は、死からよみがえり、そして、全地球に臨む大患難の時期から私達を救う為に、彼はまた戻って来られる。パウロがテサロニケの教会に書いた事をもって、終わりにしたいと思います。第一テサロニケ 1:8-10 を、聞いてください。

“主のことばが、あなたがたのところから出て、マケドニヤとアカヤに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰は、あらゆるところに伝わっているので、”

彼らが有名だったのは、その信仰です。出席率でもなく、建物でもなく。預言アップデートでもなく。

“私達は、何も言わなくても良いほどです。私達が、どのようにあなたがたに受け入れられたか、また、あなたがたが、どのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、また、神が死者の中からよみがえらせなされた御子、すなわち、やがて来る御怒りから私達を救い出してくださる、イエスが、天から来られるのを待ち望むようになったか、それらの事は、他の人々が言い広めているのです。”
(第一テサロニケ 1:8-10)

わお。そこに力があるのです。彼らは、これで有名だったのです。彼らは、主の戻りを期待して、天から来られる神の御子を、待ち望んでいる教会だったのです。これは健全な教会であり、彼らは、その事で知られていました。

福音をお伝えしたいと思います。今、お話ししたばかりですが。

イエス・キリストにある救いの福音です。パウロは、福音の説明を、第一コリント 15:1-4 で共鳴しています。イエス・キリストは十字架にかかり、葬られ、3 日目によみがえられた。それが良い知らせで、福音という言葉の意味です。イエス・キリストが来られて、あなたや私の為に死なれた。では、それに対して私達はどうか？それに対して、私達はどうか？そこに、救いの ABC が来るのです。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

自分が罪人であり、救い主が必要であると認める、もしくは認識する。ローマにはこうあります。

“「義人はいない。ひとりもない。」” (ローマ 3:10)

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず” (ローマ 3:23)

ローマ 6:23 で、特に私が好きなのは、悪い知らせが、良い知らせとセットになっている点で、悪い知らせが先に書かれています。悪い知らせはこちら。

私達は皆、人生の死刑宣告を受けて、生まれてきました。なぜか？

“罪から来る報酬は死です。”（ローマ 6:23）

これが悪い知らせ。次に良い知らせは、イエスが、あなたの死刑宣告と私の死刑宣告を支払って下さった。そこで、良い知らせは、

“しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。”（ローマ 6:23）

私達にとって無償なのは、彼によって、全額支払われたからです。

B=Believe/信じる

イエス・キリストが主であると心で信じる。これは、ローマ 10:9-10 に書かれています。

“あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。”（ローマ 10:9-10）

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める。もしくは、イエス・キリストが主であると、口で告白する。これもまた、ローマ書 10:9-10 が告げている事で、

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。”（ローマ 10:9-10）

最後に、ローマ書 10:13 にはこうあります。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」”（ローマ 10:13）

“だれでも”です。だれもが罪を犯しましたから。「恐らく」でもなく、「多分」でもなく、「かも？」でもなく、「はず」でもなく。もし、今までに一度も主の御名を呼び求めた事がないなら、口で告白し、心で信じた事がない人は、お願いですから、今日、この教会を出る前に、それをして下さい。これは、あなたが人生の中で下す決断の中で、最も大切な事です。永遠のいのちの為です。祈りましょう。それから、皆さんの忍耐に感謝します。

イエス様。私達は、あなたを、私達のする事すべての中心にしたいのです。私達が、この預言アップデートを、行う時にはいつでもです。イエス様。あなたが全てですから。全ての預言は、あなたについてです。あなたの初臨、そしてあなたの再臨。それと確実に、あなたは地上には来られませんが、あなたが、私達をこの地から取り去ってくださる、携挙です。ですから主よ。私達は祈ります。預言は、人をあなたへと導く事が目的ですから。今日、ここに居る人の中に、これまで一度も、あなたの御名を呼び求めた事のない人が居るなら、また、もしかしたら、または、あなたのところに戻らなければならない人が居るのかも知れません。今日が、その日になりますように。主よ、感謝します。それから主よ。最後にお祈りします。主、イエス。早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい